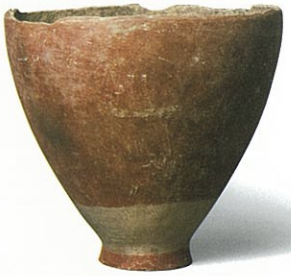
あいちトリエンナーレ2016特別連携事業／企画展／埋蔵文化財展

弥生への旅
朝日遺跡
2000年前のキャラヴァンサライ



A Journey
to the Yayoi Period:

Asahi Site
- Caravansary of 2000 years ago -

2016年
7月2日(土)—8月28日(日)

サブ展示1
「弥生古物を旅する」
古美術や美術史における弥生遺物を紹介。

サブ展示2
「あいち考古楽市」
県内市町村・大学等の機関がブース展示。

愛知県陶磁美術館

本館 第1展示室、第2展示室、特別展示室

［休館日］毎週月曜日 ※7月18日(月・祝)は開館、19日(火)は休館。
［開館時間］午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
※展覧会初日は入館は午前11時から

［主　催］愛知県陶磁美術館、愛知県教育委員会、
公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
［共　催］中日新聞社　［後　援］愛知高速交通株式会社(リニモ)

愛知県陶磁美術館
セラミアム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

虹のキャラヴァンサライ
あいちトリエンナーレ2016
特別連携事業

朝日遺跡（愛知県清須市ほか）は、東海地方最大規模を誇る、弥生時代の集落遺跡です。同遺跡から出土した遺物のうち、愛知県が所蔵する主要遺物2,028点が2012年に国の重要文化財へ指定され、大型展示施設での本格的な展覧会は初めてとなります。本展は、あいちトリエンナーレ2016「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」特別連携事業として、来館者が朝日遺跡、弥生時代、愛知県の考古学をめぐって旅することを目指し、3つの展示部門を設けています。

メイン展示「弥生への旅 朝日遺跡」では、朝日遺跡から出土した土器などについて、その造形美を展示紹介するとともに、当地域の弥生時代における人々の多様な活動を、朝日遺跡出土の重要文化財によって紹介します。

サブ展示1「弥生古物を旅する」では、考古学以外の文脈ー古美術・美術史・鑑賞教育などにおける弥生遺物の位置付けについて紹介します。サブ展示2「あいち考古楽市」では、愛知県内の市町村・大学等の考古学調査研究機関によるブース出展形式で、愛知県内の考古学的な調査研究の概要を紹介します。陶磁美術館の展示室をめぐるキャラヴァンー旅に出発し、朝日遺跡、弥生時代、愛知県の考古学の創造力を感じ取ってください。

学習・体験プログラム ※事前申込不要、参加無料。

講演会・シンポジウム1「倭国への歴程」

7月 9日(土)午後1時30分ー午後4時30分　会場:愛知県陶磁美術館 本館 講堂

1 講演「朝日遺跡の盛衰と弥生時代」
講　師: 設楽博己氏(東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室教授)

2 シンポジウム「倭国への歴程」
パネラー: 設楽博己氏(東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室教授)／石黒立人(愛知県埋蔵文化財センター専門委員)／原田 幹（愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室主査)／永井宏幸(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)

講演会・シンポジウム2「狗奴国創世記」

8月20日(土)午後1時30分ー午後4時30分　会場:愛知県陶磁美術館 本館 講堂

1 講演「狗奴国創世と朝日遺跡の終焉」
講　師: 赤塚次郎氏(NPO法人ニワ里ねっと理事長)

2 シンポジウム「狗奴国創世記」
パネラー: 赤塚次郎氏(NPO法人ニワ里ねっと理事長)／樋上 昇(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)／早野浩二(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)／宮腰健司(愛知県埋蔵文化財センター長兼調査課長)

連続講座1「朝日講座」

午後1時30分ー午後3時　会場:愛知県陶磁美術館 本館 展示説明室

7月16日(土)	「"はじまり"の朝日遺跡」	鬼頭 剛(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)
7月23日(土)	「"貝殻山貝塚"から"朝日遺跡"へ」	永井宏幸(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)
7月30日(土)	「朝日遺跡の"衣・食・住"」	宮腰健司(愛知県埋蔵文化財センター長兼調査課長)
8月 6日(土)	「朝日遺跡の"日常と非日常"」	石黒立人(愛知県埋蔵文化財センター専門委員)
8月13日(土)	「朝日遺跡と色使い」	堀木真美子(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員) 宮腰健司(愛知県埋蔵文化財センター長兼調査課長)
8月27日(土)	「朝日遺跡"総集編"」	石黒立人(愛知県埋蔵文化財センター専門委員)

連続講座2「担当者が語る発掘現場三十年」

午後1時30分ー午後3時　会場:愛知県陶磁美術館 本館 講堂

7月24日(日)	「清洲城下町遺跡」	鈴木正貴(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)
	「鷲窯跡・桑下城跡」	小澤一弘(愛知県埋蔵文化財センター専門委員)
	「八王子遺跡」	樋上 昇(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)
8月 7日(日)	「城山城跡」	永井邦仁(愛知県埋蔵文化財センター調査研究主任)
	「室遺跡」	都築幅也(中京大学文学部歴史文化学科客員教授)
	「石座神社遺跡」	早野浩二(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)

展示解説

7月10日(日)／7月18日(月・祝)／8月21日(日)　午後1時30分ー(約1時間)
会場:愛知県陶磁美術館 本館 第1展示室
※本展の観覧券が必要です。

ワークショップ

午前10時ー正午、午後1時ー午後3時の間に随時
会場:愛知県陶磁美術館 本館 特別展示室入口前
講師:愛知県教育委員会文化財保護室職員・愛知県埋蔵文化財センター職員
7月 2日(土)「勾玉づくり」※7月2日は開会式のため午前11時から
7月 3日(日)「拓本体験」
7月17日(日)「キネクトゲーム」
7月31日(日)「弥生機織り」
8月14日(日)「巴型鋳込み模擬体験」
8月28日(日)「銅鐸鋳込み模擬体験」

(参考)学校出前講座「やきものの鑑賞」

2015年度に図画工作科5・6年の鑑賞教育の一環として、
弥生土器を含む古陶磁の鑑賞学習プログラムを実施校公募の上、
次のとおり実施しました。その成果を本展で展示紹介します。
平成27年　9月30日(水) 弥富市立栄南小学校5年(17名)
10月15日(水) 名古屋市立稲生小学校5年(99名)
12月 2日(水) 東海市立三ツ池小学校5年(56名)

関連事業

シンポジウム「中部地方の瓦窯の構造」

7月31日(日)午前10時ー午後4時　会場:愛知県陶磁美術館 本館 講堂
※本事業は、第27回考古学研究会東海例会・第14回窯跡研究会の共催シンポジウム第2日で、本展「あいち考古楽市」における名古屋大学考古学研究室展示の関連事業です。(第1日は、7月30日(土)に名古屋大学大学院文学研究科で開催します。)※事前申込不要、参加無料。ただし資料は実費(1,000円)必要。

講義「愛知の瓦を考えるー古代編ー」

8月26日(金)午後1時30分ー午後3時　会場:愛知県陶磁美術館 本館 講堂
講師:大西 遼(愛知県陶磁美術館学芸員)
※本事業は、愛知県陶磁美術館ボランティア研修・8月を一般公開して行うものです。
※事前申込不要、参加無料。

観覧料

一　般 600円(480円)	高校・大学生 500円(400円)	中学生以下無料

※(　)内は20名以上の団体料金　割引制度:※あいちトリエンナーレ実行委員会が発行するあいちトリエンナーレ2016国際展(現代美術)チケット(普通チケット、フリーパスいずれも可)を持参の方は、観覧料が100円引となります。※リニモ「藤が丘」「愛・地球博記念公園」「陶磁資料館南」「八草」各駅に設置の割引チラシ(リニモ利用者に限る。)／リニモ「一日乗車券」／名古屋市交通局「一日乗車券」及び「ドニチエコきっぷ」／モリコロパーク駐車場再入場券／名都美術館有料観覧券の半券(2ヶ月以内)を持参の方は観覧料が2割引となります。※チラシ等の割引引換券、JAF会員証、「ミュージアムぐるっとパス・関西2016」掲載の割引券、「愛知ふるさと大使」の名刺を持参の方は観覧料が100円引となります。※身体等に障がいのある方及び付添者は手帳を受付にて呈示されますと割引制度が適用(割引要件あり、詳しくは公式WEBサイトをご覧ください)されます。※各割引制度の併用はできません。

愛知県陶磁美術館 セラミアム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM
〒489-0965　愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL : 0561-84-7474
FAX : 0561-84-4932
http://www.pref.aichi.jp/touji/

次回展覧会のお知らせ　あいちトリエンナーレ2016特別連携事業／特別企画展
「人が大地と出会うとき」9月10日(土)ー10月23日(日)

[表面] 上:「甕」(日本民藝館所蔵)、他の遺物は全て重要文化財「朝日遺跡出土品」(愛知県教育委員会所蔵)
[裏面] 左1・2上下・右3:重要文化財「朝日遺跡出土品」(愛知県教育委員会所蔵)　左3:「壺」(豊田市民芸館所蔵)
右2:「甕」(日本民藝館所蔵)　右1:設楽町笹平遺跡貯蔵穴から出土した縄文土器(愛知県教育委員会所蔵)

交通

◇公共交通機関
地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m／名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(＊土日休日のみ)／愛知環状鉄道「八草」駅下車、リニモ「八草」から「藤が丘」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m

◇自家用車(駐車場無料・250台収容)
東名高速道路「日進JCT」経由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から瀬戸方面に約5km／東名高速道路・名二環道「名古屋IC」から瀬戸・豊田・足助方面に約10km／東海環状自動車道「せと赤津IC」から長久手方面に約7km

◇タクシー
地下鉄東山線・リニモ「藤が丘」駅から約20分／名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分

瀬戸市内の展覧会のお知らせ
瀬戸市美術館「瀬戸陶芸の歩みと瀬戸陶芸協会の今」6月4日ー7月31日
「陶芸＆陶磁器デザイン2016」8月6日ー9月25日
瀬戸蔵ミュージアム「新出土品展」7月16日ー9月11日
瀬戸市新世紀工芸館「道川省三 瀬口吉則」6月25日ー9月18日
瀬戸染付工芸館「瀬戸染付って何?」6月29日ー9月26日